中山桜台小学校·中山五月台小学校 第2回学校統合準備会 会議概要

開催日時	令和元年7月16日(火) 10:00~12:00
開催場所	中山台コミュニティセンター 2-1会議室
	【委員】10名出席
出席者	【教育委員会事務局】6名
議事	1 会長・副会長の選任
	2 会議の運営方法について
	3 専門部会の状況報告
	4 プロジェクト名について
	5 (仮称)統合だよりについて
会議の主な	1 会長・副会長の選任
結果	2 (1) 専門部会の会議録は議事と結果を記載する事と確認
	(2) 学校統合準備会の会議の運営方法について、会議の成立は委員の 1/2 の
	出席が必要と確認
	(3) 社会体育団体部会について委員に学校長を含まないことで承認
	3 専門部会の報告
	4 プロジェクト名は「わくわく!ニコニコ!みんなの学校づくり大作戦!」に決
	定
	5 (1) (仮称)統合だよりの編集委員を決定
	(2) 発行頻度は2か月に1回程度
	(3) 発行元は学校統合準備会と教育委員会の連名になる事を確認
会議録(要旨)	
事務局	ただいまより第2回学校統合準備会(以下、統合準備会という)を始めます。そ
	れでは開会にあたり、管理部管理室長、髙田より開会のごあいさつを一言申し上げ
	ます。
+ 2h D	Jr. 1. Gr.
事務局	~ あいさつ ~
事 数已	並同の会業では委員におされて比させが沖空していわかったこしから、せ ず は比
事務局	前回の会議では委員になられる皆さまが決定していなかったことから、まずは皆 さまのご紹介をさせていただいます。
	さまいニ和力をさせてペソニノニレペまり。
	~ 委員紹介 ~
	- 安良和力
事務局	 続きまして事務局のご紹介をいたします。
<u> </u>	

~ 事務局紹介 ~

事務局

それでは次第2「統合準備会の会長、副会長の選任」に移ります。要綱では会長、副会長は互選により決定としています。皆さまの中でご推薦される方や立候補される方はいらっしゃいますか。

~ 立候補、推薦なし ~

事務局

事務局案として会長に委員、副会長に委員にお願いしたいと考えておりますがいかがでしょうか。

~ 異議なし ~

事務局

それではよろしくお願いいたします。進行は引き続き事務局の方でさせていただきます。それでは議事に移ります。「(1)会議の運営方法について」に移らせていただきます。資料2「学校統合準備会に係る会議運営基準」を基にご説明します。

~ 資料2に基づき説明 ~

事務局

続いて、専門部会の会議の運営方法についてですが、先に開催しました総務部会でのご意見も踏まえて、専門部会の運営については、特に傍聴は募らない、会議録については、議事と会議の結果とすることとしたいと考えていますが、よろしいでしょうか。

~ 異議なし ~

事務局

専門部会は、具体的な案を決めていく作業部会ですので、自由に様々な意見を出していただきたいと思います。また、統合準備会の開催頻度につきましては、概ね 2 カ月に 1 回程度の開催を考えております。ただし、各専門部会の進捗状況に応じて、専門部会間調整や早急に統合準備会で検討すべき案件等があった際には、適宜開催をお願いしたいと思います。

委員

確認ですが統合準備会は調整を行う組織であり、決定を行う組織ではないという 事でしたね。では、会議の運営基準のなかで会議の成立はどのようにされますか。 もう少し明確にしておいた方が良いと思います。

副会長

この統合準備会においては日程調整をしていただけますので半分以上の委員が出席できないような調整はされないと思います。それと賛否を問うような運営は良

くないと思います。大きな物事を決めて進んでいかなければいけない中で、意見の すり合わせが絶対必要となりますので、右か左かというような会議の運営方法はこ の場では相応しくないと思います。

委員

基本的には私もそう思います。統合という問題はどの専門部会でも採決を取り反対意見を潰すような運営方法では出来ません。討議を尽して、最終的には個人の意見を言い張らない、みんなでまとまることを意識しなければ、3つの組織すべてが進められないと思います。なので、欠席してもフォローをしていくという事を大事にしてほしいと思います。

委員

それで良いと思います。ただ、欠席した人が後から内容を確認した場合に、曖昧な状態でどうなっているのか分からない。どんな意見が出たかという事を、みんなで共有していかないといけません。会議の途中から参加されても過程が分かっておかないと、意見が変わることも考えられます。また、後から記録を読めば事が足りるので、自分は意見をあまり持っていないので参加しなくて良いとなってしまえば、会議に来ない方もいるかもしれません。その辺が曖昧になるのはよくないので、会議の成立については決めておかないと、極端に言えば1人でも来ていれば成立するのであれば、後で記録を読めば事が足りるだけとなり、それなら会長、副会長だけで教育委員会と調整してよ、となります。その辺りをはっきりさせた方が良いと思います。

副会長

欠席の方、遅れて来られる方など日程調整の後に参加者が減ってきた場合に会議 の成立に必要な割合を決めておいた方が良いと思います。

委員

数字で表すのは難しいのではないでしょうか。会議の内容によっては育友会がメインとなる場合に、割合を半分に決めたとして、例えば、中山五月台の PTA の方がいないとか、学校長が 2 人とも来られないという事もあり得ます。運用をしてみて決める必要が出た場合に決めれば良いと思います。

事務局

適正化検討委員会の要綱では会議の成立条件は半数以上が参加という事になっております。今、ご意見があったように運用の中で調整していくのも1つの方法かと思います。

会長

それぞれの委員のスケジュールを全員参加できるよう調整し、欠席される場合は やむを得ないと思います。半数の出席があれば有効という事で良いのではないかと 思います。

事務局

欠席者の方には会議の報告は事務局の方で行うべきかとは思います。

会長

代理出席可とのルールもありますので、半数以上の出席で会議成立という事でよ ろしいですか。

委員

私も半数で良いと思います。ただ学校長が不在のまま学校のことを決めるのは難 しいと思いますので、それは内容にもよると思います。

副会長

最低でも学校長のうち1人は参加いただくとか。やはりどの団体についても、1 人も参加できないというのは良くないと思います。

校長

その辺りは日程調整の中で調整いただければ良いかと思います。

委員

半数以上のルールは結局、設けるんでしょうか。

事務局

はい。ただ、この会議にその基準を当てはめると6名で会議の開催が出来てしまいますので、そうではなく、議論を尽くすためには出来るだけ多くの方がご参加いただける日程調整を行うという事が大前提になります。

議事2「(2) 専門部会の状況報告」に移ります。それぞれの専門部会の中で部会長、副部会長を決めていただき、ご報告をいただくとしておりますが、今回は1回目という事で事務局よりご説明をいたします。資料3「専門部会の進捗状況一覧」をご覧下さい。現在6つの専門部会のうち、総務部会、地域・PTA(育友会)部会、児童育成会部会が開催されました。

~ 資料3に基づき3つの専門部会の進捗状況を説明 ~

事務局

説明は以上となりますが何か補足等はありませんか。

校長

まだ開催はされておりませんが、社会体育団体部会について、事前の打合せという事で、両校の校長と教育委員会で話しをさせていただきましたので、この統合準備会でご承認を得られたらと思っています。社会体育団体部会についてはサッカーや野球などを行っている社会体育の団体と両校のスポーツ 21 について統合するための議論が必要となります。それとは別に学校関係者も参加している社会体育運営委員会というものがあります。この委員会は市内の全学校で年に1、2回開いているもので、統合の議論とは別の話となります。ですので、社会体育団体部会では学校長が議論に参加せず教育委員会に任せた方が良いと思います。従来の社会体育運営委員会は別の問題として学校が運営に携わるという事で区別出来たらと思います。

事務局

先ほど校長先生からご説明いただいた事や今までのご説明について何かご質問 はありませんか。

事務局

スポーツ21は主に県の施策です。それぞれの小学校に団体を作って下さい、という事でお金が給付され、それが活動資金となっています。そうしたお金の整理も含めてこの専門部会の中で行う必要がある訳ですが、その運営に学校長は関わっておりません。学校長は学校の施設管理者という事で関わっていただいております。今回の議論は運営面のこととなります。また、跡地利用については教育委員会だけではなく、市として検討を進めておりますので、そのことについて学校長が専門部会に参加して聞かれたとしても、お答えが出来ないことがあります。また、専門部会には6つの専門部会があり、多くの専門部会に学校長に入っていただきます。すべての専門部会に出ると、会議の出席に時間を割くことになり、学校運営に支障が出てくることも考えられますので、校長先生の負担を軽減していく必要があります。そういった観点からも、社会体育団体部会に校長は委員として参加しないという整理をしました。

委員

前に説明いただいた組織図から学校長を外すという事ですね。理由は分かります。その方が合理的だと思います。

副会長

事務局はスポーツ振興課となっていましたが、スポーツ振興課だけですか。跡地利用のことが決まらないと議論が出来ないので、専門部会ではまずその意見が出ると思います。そういったことが聞ける部署にも事務局に加わっていただいた方が良いと思います。

事務局

スポーツ振興課とは段階を追って進めていくよう協議をしております。跡地利用が確定してない中で、運営面の議論が出来ないと思いますので、まずスポーツ21については団体として1つになる必要がありますので、まずはそのことを議論していただくという事になります。その後、運営をどうしていくのかという議論になってきます。活動拠点がいくつになるかによっても変わります。第1回目の会議から、必要であれば私も入って説明していこうと思います。

事務局

それでは議事(3)「プロジェクト名について」という事で担当よりご説明いたします。

事務局

学校統合を進めていくに当たり、子どもたちがわくわくするような取組となって、統合後も学校に楽しく通えるようなイメージのプロジェクト名がつけられるよう適正化検討委員会の皆さまより案を頂戴いたしました。資料4「プロジェクト名集計一覧」に案を記載しております。このプロジェクト名集計一覧を参考にプロジ

エクト名をこの統合準備会で決めていただきたいと考えております。

~ 資料4に基づきプロジェクト名案を紹介 ~

~ プロジェクト名の議論 ~

【プロジェクト名の決定】 わくわく! ニコニコ! みんなの学校づくり大作戦!

【プロジェクト名を決定した理由】

- ① (仮称)統合だより等の愛称になるもの
- ② 学校統合がイメージしやすいもの
- ③ 語呂がよい字数であるもの
- ④ 楽しく、子どもも大人も前向きに捉えられイメージのもの
- ⑤ みんなで学校を作っていく、考えていくイメージのもの

事務局

続きまして議事(4)「(仮称)統合だよりについて」に移ります。担当より資料 5「(仮称)統合だより」をご覧下さい。

事務局

~ 資料5に基づき説明 ~

- ①記事の内容の確認
- ②統合準備会と教育委員会の連名で発行することの確認
- ③発行頻度の確認 (概ね2カ月に1回程度)

事務局

統合だよりの説明は以上となります。先ほど申し上げましたが、統合だよりは統合準備会と教育委員会の連名で発行することでご確認いただきましたので、この統合準備会の中で編集委員というような形でどなたか2名ほど、こちらが作成した素案をご確認いただけないかと考えております。自薦、他薦でも結構ですので、2名程度と申し上げましたが、人数も含めご意見はございませんか。

副会長

1名は出来れば保護者代表の方からお選びいただく方が良いと思います。

事務局

学校長には別途内容の確認はしていただこうと思っておりますので、学校長を除いた方の中から2名をお選びいただきたいと思います。

校長

学校からは学校長が、保護者からは1名という事なのであと1名は地域の方から 委員になっていただく事で良いのではないでしょうか。 副会長

委員にお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

委員

内容の確認という事であれば良いですよ。

事務局

原稿は事務局で作成いたしますので、内容や表現方法などをご確認いただきたい と考えております。

副会長

保護者からはいかがでしょうか。

~ 保護者からは委員を推薦 ~

事務局

では編集委員は委員と委員にお願いします。今後はこのお二人と学校長には記事 の内容のご確認をお願いいたします。皆さまよろしいでしょうか。

~ 異議なし ~

事務局

それでは議事の方はこれにて終了となりますが皆さまご意見やご質問はございませんか。

委員

プロジェクト名が「わくわく!ニコニコ!みんなの学校づくり大作戦!」になりましたが、これまでは、やるべきことを粛々と進めているように思えます。どうすればみんながわくわくするような学校づくりをしていけるのかを考える必要があると思います。地域・PTA(育友会)部会では、中山五月台小学校の助っ人さんは里山活動等でご活躍されていますが、跡地利用が決まらないと議論することも出来ず話が終わってしまいました。もしも里山が使えるのであれば、中山桜台小学校の子どもたちにとっても楽しいものとなると思います。跡地の事も含め、もっと夢のあるようなことを話していきたいと思います。

委員

おっしゃる通りだと思います。子どもたちが統合の話の中心にいるのは当然のことだと思います。その上で、保護者や先生、地域の方、そこの学校に関わるみんなが楽しいと思ってほしいと考えています。そういう話をするとみんな目を輝かせてくれます。子どもたちの学校だけれども、その周りの大人たちが関わって学校は作られていると思います。でも、その大人たちが楽しいと思っていなければ、子どもたちが楽しいと思える学校ってつくれるでしょうか。今の学校を見ていると本当に先生方はお忙しそうで保護者としては色んなことを思います。先生方には本当に一生懸命やっていただいています。PTAとして頭の下がる思いです。本当に良い学校ってどんな学校なんでしょうか。みんなが楽しいと思える学校ってどんな学校なん

でしょうか。もちろん立場によって違ってくるとは思います。私はそういう話をしたいと思っています。そういう話をする機会を設けて、例えば先生方がしんどいとこや、それに対し保護者や地域が手伝えることがあるのかとか、様々なことをお話できるのではと思っています。コミュニティスクールの制度もありますのでそういったことも含めて考えられないでしょうか。中山五月台小学校では7月末に先生方と保護者の意見交換会のような形で、本音で話をさせていただくことになりました。

委員

どこで論議をすれば良いのかと思っていますがこの地域のキーワードはまち山です。この中山台ニュータウンのエリア一帯は生物多様性上重要な里地里山 500 選の中山台のまち山と環境省が指定しているんです。その中で中山五月台小学校で里山活動をしています。中山桜台小学校横の林野庁の自然休養林 1/3 ぐらいの面積が、ゆうゆうの森に指定されています。このような環境は宝塚の中でもここだけです。この特徴を生かした新たな学校をつくる。そして小中一貫校という事も含めて考えていく。これはこの地域でなければ出来ないことだと思います。学校名を考えた時に、中山まち山小学校というような、まち山を前面に出すような名前が良いと思います。これを生かすには PTA も地域も一緒でやらなければ、先生だけに任せては時間的にも、知識的にも無理だと思います。コミュニティスクールを含めて地域が頑張らなければならない。そうしていけば小中一貫校はすごいことになると思います。子どもが楽しくという事も論議としてありますが、学校を統合した後にはこの地域の価値あるものを教育環境にどう生かすのか、適正化検討委員会等で論議したら良いのかなと思っています。

事務局

学校統合に関することは統合準備会で議論される事となっておりますので、今後 みんなが楽しいと思える学校づくりという事についてはこの場がふさわしいと思 います。

委員

私は中山五月台小学校の保護者なので里山のことは分かるので、すごく興味があります。今活用されているんですか。

校長

櫻守の会に来ていただいて、3年生が環境活動に活用しています。

委員

ゆうゆうの森をどう利用するかは教育委員会が考えると思います。まち山という言葉は宝塚の環境基本方針の中に盛り込んであります。そしてまち山と言いながら、活動としては、里山整理を行っています。ですので、まち山小学校が中山五月台小学校跡地の里山を利用していても良いんです。学校名を論議する時に今のお話を提案したいなとは思っています。

委員

ゆうゆうの森は中山桜台小学校の子どもたちにとって、心に残る思い出の場所な んですね。

委員

今はこの広い土地のうち、ゆうゆうの森の一部を使っているわけです。

校長

3年生以外に、4年生がこの道を通って校外学習に行くようになっています。

委員

中山五月台小学校もそれと同じように子どもたちの心に大きくあるのが里山です。1年生から6年生までが使います。もちろん3年生が環境体験学習なので中心に使用しますが、毎年各学年で、ジャガイモや大根などの野菜を作り、収穫し、持って帰ります。中山台地区の3P会(中山桜台小学校・中山五月台小学校・中山五月台小学校のPTAの会議)で中山五月台小学校の魅力について、私がPTAの会長を務めていた際には、幹事校として里山のことをお伝えしました。他の学校の方からは「里山について詳しく知れてよかった」とか、「自分の子どもにも是非体験させたい」とのお言葉をいただきました。中山五月台小学校の子どもにとっては学年関係なく身近な里山です。何を残してほしいと聞かれると真っ先に出てくるのが里山です。子どもたちだけではなく、それを支えている地域の方々、学校の先生方にとっても大きいものだと捉えております。

委員

先週、中山五月台幼稚園の裏手で星空幼稚園が開催されました。これも中山五月台小学校の里山と同じで、みんな知らないんです。夜に真っ暗な中、裏山で行いましたが、これはまちなかの幼稚園では出来ません。あの暗い山の中では子どもたちにとっては、ときどき忍者がいたり、恐竜がいたり様々なものがいるんです。そういった素晴らしい環境があるんです。中山五月台幼稚園と中山五月台小学校の裏山を含めて、どう使うかという視点を含めて、跡地をどうするかを考えていけば良いと思います。まち山についても、皆さんが知らないところからスタートすれば良いと思うんです。

副会長

要するに、この統合準備会でそれぞれの専門部会の報告を行うだけの会議ではなくて、どういった学校にしていくか、地域の学校としてどのようにしていくかについても一緒に考えましょうという事ですよね。

校長

その趣旨を我々が専門部会に伝えていけば良いんですよね。第3層、第4層の専門部会に。7月23日に地域・PTA(育友会)部会の地域部会が開催されますが、地域の方からも今委員が言われたようなお話が出てくると思いますので、それを良い学校づくりに結び付けていくことが我々の任務だと思います。元々、中山五月台小学校では、兵庫型体験学習の特色として30年前に、当時の学校長が市教育委員会から何か特色のある体験学習が出来ないかという事で、里山の体験学習がスター

トしたと聞いております。ですので、そういう話合いを行政の力を借りながら良い 方向に進めていければと思います。

委員

どこでその話合いすれば良いのかということになります。私たちは PTA の代表としてこの場に来ていますが、あくまでも代表なだけで、意見を集約しているわけではありません。今までにも会議の内容については、一旦持ち帰って、他の PTA の意見も集約させてもらうようにお話ししてきました。だけど、そういう運用ではありませんよね。いつも会議の当日に議題を出されて、この場でお話をして下さいと言われます。個人的な意見はいくらでも言えますが、他の皆さんの意見を集約したものではありません。校長先生についても、先生方の意見を集約して持って来られているんでしょうか。地域の方についても同様です。そういう事ってなかなか難しいと思います。

校長

今始まったばかりなのでこれからそういったことも出てくると思います。

委員

私たちはそういったことが分からないので、今後の方向性をどうしますかというお話です。

委員

出来ればこの統合準備会で決めるのではなく、統合準備会から発信していく形を 取りたいと思います。こんな考えはどうですか、という事を統合準備会で論議して 発信していくという事を皆さんで共有したいと思います。

委員

この場には委員がおっしゃるように限られた方しか来られてないですよね。そして、各専門部会に持ち帰っても、限定的な人しか参加していないですよね。地域や他の保護者とお話をしていても様々な思いがありますので、出来ればこの地域のすべての人が参加できるような会議を設けてほしいと思っています。例えば、会の前半は全国の事例を紹介し、みんなの意見をワークショップ形式で出し合い、後半の意見集約については人数が絞られていないと難しいので、こういった場で議論していくような形はあって良いのかと思います。

委員

そういったことを議論するのであれば、統合準備会でしょうね。

委員

一度それぞれが持ち帰っても良いんではないですか。それぞれの方がどのように 思われているのか集約するために。

委員

1回目の統合準備会では会議で何を検討しようかを決めました。そこに先ほどの ことも付け加えれば良いという事です。いつやるかについては、他の課題もあるの で調整が必要にはなります。今日は、中身は抜きにして、検討項目に付け加えれば 良いのではないでしょうか。

委員 中身はいつ決めるんですか。

委員 検討項目が色々あるので、それぞれの項目について優先順位を決めていくことに なると思います。

委員 アイデアや夢を膨らますといったところは最後の方ではなく最初の方にやった 方が良いと思うんです。

最初にコンセプトを決めてほしいんですよ。今まで皆さんに意見を聞いていましたか。知らないところで話が進んでいっていたという認識が多いんです。統合だよりは情報共有できるように発行されていくとしても、この内容を見て概要は分かるとしてもすべてを知れるわけではありません。意見の集約はどのように行うんでしょうか。本当に皆さんに共有できるんでしょうか。私は正直疑問に思っています。

次回そういう提案があったという事で論議すればどうでしょう。

次回事務局から具体的な手法を提案いただくという事でどうでしょうか。

僕はもう少しこの場で論議する必要があると思います。このことについてはこの 3人で話しているだけで統合準備会の中で意見を回せていないので。事務局案の前 に統合準備会のテーマとして取り上げること、統合準備会で煮詰める機会を設けて はいかがですか。

イメージ的にどういったことを保護者に意見を聞き、どういった論議をして意見を吸い上げるのかが私には分からなかったんですが、どういうテーマで意見を聞きたいという事が見えてこないので、その辺りを共有していけば、具体的な論議もできるかと思います。ですので、その辺りを時間をかけてお聞きしたいと思いますね。

そうですね。あと中山五月台小学校と中山桜台小学校の OB の方もすごく気にされています。その方は保護者ではなくなって地域の方なんですよね。そういった方もすごく気にされているので

今の不安なお気持ちがどういったものを持たれているのかを聞いていただくの も大事なことだと思います。

保護者や地域の大多数の方にどう伝えていくのか。統合だよりは出していただけ

委員

副会長

委員

委員

委員

委員

委員

副会長

11

ますが、その方々の意見はどうやって吸い上げていくのか。難しいことではあるかもしれませんが、そこを考えていかないと勝手にしてとか言われるのも私は嫌なんです。

委員

ゆっくり時間をかけないといけないところもありますが、学校の運営については 法律によって決められたこともあります。教育委員会の方針もあったりするので、 地域の住民の声を取り入れることが出来ないところもあると思います。教務部会と 事務部会は学校に任せるという事で、住民は入らない事になりました。学校の運営 方針も学校が決めることなので、我々はそれで良いと、お任せしましょうとしたわけです。ですので、気持ちとしては住民の意見を聞いてほしいところはありますが、 任せる部分は任せるということで、そのスタンスは大事にした方が良いと思います。だから、いきなり事務局から提案して下さいというのは無理な話なので、こちらで一度煮詰めましょうという話なんです。

委員

私は今年から参加させていただくので、分からないことが多いんですけども、中 山桜台幼稚園跡地の工事が始まりましたが、統合と関係のあるものですか。

事務局

関係があると言えばあるんですが、元から解体したいという事ではありました。 中の荷物の整理がついたので解体しようとなりましたが、更地になり、空いてる土 地の活用方法を検討するという事になりますので、関係がないわけではありませ ん。ただ、解体そのものは全く別の事業となります。

委員

保護者の中にはきちんとした情報が下りて来ていないので、跡地が育友会や育成会の教室になるんではないかとか、PTAの予算が市に吸収されるんではないかとか色々な噂話が出回っていて、どう答えたら良いのか困っています。また保護者の不安について、1月に中山五月台小学校で保護者の説明会を行っていただきました。その際特別支援学級の方から意見が出ましたが、様々な不安に対し市からいただいた回答はすべて連携して対応していくよう努めますという話だけで、たくさんの意見に対しコピーのようなお答えを返されていて、すごく悲しい気持ちになりました。私自身介助員をしておりますが、現場は本当に大変です。先生方はいつ休まれるんだろうと思うくらい。実際に市は1年半で統合出来ると思われているのでしょうか。

事務局

令和3年4月1日に向けて取り組んでいかないといけないというところは変わっておりません。

委員

時間が少なくなる中で、先生方に負担がいくと思うんですけど、子どもや保護者、 先生方の思いを市に知っていただきたいと思います。本当に現場に来ていただいて 状況を知っていただきたいと思います。

事務局

分かりました。特別支援学級だけではなくて、現場をという認識はしっかりと持って取り組んでいきたいと思います。

委員

統合の話が出た時の教育委員会の中での話を見たことがあるんですが、住民と協働で進めていこうという事を強調されていますよね。地域を含めて一緒に考えていくという事がスタートラインで、それを大事に進めていただいたので、適正化検討委員会が立ち上がり、統合準備会、専門部会が設置されている。そしてお互いに役割分担をしながら、子どもにとって一番良い学校をつくろうという事でここまで来ています。今お話いただいたことも切り捨てずに解決していくという事でないと統合はうまくいかないという事は、保護者、地域にとっても共通していると思いますので、これからもその姿勢を続ければ、解決できると思います。

校長

今話に出ていた様に三者一体で、学校・家庭・地域が一歩ずつやってみることで、 課題が見えてくると思います。まずはやってみるという事で取り組んでいきたいと 思います。

事務局

先ほどいただいたお話について、教育委員会から案を出すのではなく、近いうちにお集まりいただいて、この中で共有し、議論していけたらと思うんですがいかがでしょうか。

事務局

先ほどこの会議は2か月に1度ぐらいのペースと申しましたが、9月を待っていると学期が変わってしますので8月下旬ぐらいでいかがでしょうか。

委員

8月下旬に何をするんでしょうか。

事務局

ご意見いただいた中ではいくつかあったと思うんですが、学校統合についてのお話がきちんと情報として伝えられていなかったり、どんな学校にしたいという事についても議論が出来ていないというお話でした。情報の伝え方や、他市の事例を含めて教育委員会から提案するのか、教育委員会からの提案ではなく、統合準備会の中で先に議論していただくか。そういったところを全員で共有するような議論になるかと思います。

委員

出来れば僕の持っているまち山の資料も用意しますので見てほしいと思います。

事務局

どんな学校にしたいのかという事なども、それとそれをどのように発信していく のかという事もですね。 会長

今日はキャッチフレーズも出来て、その中で今のまま進んではキャッチフレーズ のような統合は出来ないでしょうというご意見があったと思うんです。統合準備会 で今の話を議論して、何が出来るかという事を第3回統合準備会で検討したいとい うことですね。

委員

どんな学校にするかではなくて、プロジェクト名を実現するためにどういうこと が必要かを検討するという事ですね。

会長

今のままでは出来そうにないとの意見があるので、それに対してどうしたら良いかということではないかと思います。

副会長

どういうことをしたいかもそれぞれ違うと思うので、それぞれが思っていらっしゃることを出し合う会を行うという事です。

委員

教務部会と事務部会は進んでいるんですか。

事務局

まだ会議は開かれておりません。

委員

そこが進まなければ話し合いが出来ないのではないですか。

委員

僕が提案したのはそういったものの背景になるものを共有しませんかという程度でスタートすれば良いんです。僕が言いたいのはこの山の特徴を住んでいる人が知らないという事なんです。僕はこの山が素晴らしいものだと知っています。これを学校教育に活かしてほしいと思っています。そういう気持ちを共有させてもらえませんかという事です。

会長

前段で中山桜台小学校と中山五月台小学校の良さが共通で把握できていないという事があるので、お互いの小学校区の情報交換を含めて、里山のことも含めて、 勉強会的なものをすればどうかと思います。

校長

学校の教務部会、事務部会が具体的に進んでいないとのご意見がありましたが、 物理的にこの時期は成績を付けている時期であり、動けないんです。申し訳なんで すけども。ただ先ほどおっしゃっていただいたように教育課程は学校のことなので そこは任せていただいて、私どもでやっていきます。ただ、今この会で話されたこ とは絶対に取り入れないといけないとなると、それはしんどい事にもなります。そ れぞれの役割分担の中で何を大切にするかはこれから話をするんですけども、た だ、地域のリソースがどういったものがあるのか。それを強みにしていけるという ような事であれば、地域の思いとして、ここは大切にされているという事でお話も 伺っていけると思うんです。ただ、地域の皆さんのご意見を必ず入れて下さいとな ると、学校としては厳しいところがあるかと思います。

校長

我々も中山五月台小学校の良さは勤務しているので分かるんですよね。そして中山桜台小学校も近隣校なので良さは分かるんですよ。地域部会を今度開くんですが、地域部会のボランティアの方もそれぞれ交わっていこうとおっしゃっているんです。今度里山活動に中山桜台のボランティアの方にも来てもらおうという話もしていますので、かけ離れた方向には進んでいないと思うんです。あと教務部会、事務部会は作業量が莫大です。組織も2つになっていますが、量が多いので、細分化しようとしています。それをうまく進めていけるように今スケジュール化しているんです。そういった意味で今地固めしておりますのでご理解下さい。基本的に我々学校長は皆さんのご意見を職員会議でお伝えしますので、浸透させますのでそこだけはご安心下さい。

事務局

8月に第3回統合準備会を行うという方向で皆さまのご理解はいただけたと思いますので、調整をしていきたいと思います。

~ この場で日程調整 ~

次回は8月29日(木曜日)13:30からこの会場で開催させていただきます のでよろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。